

書名	修学旅行が楽しくなる 仏像”ここ見て”調査隊 奈良編			著者名	中村文人／著 宮澤やすみ／監修		
出版社	くもん出版	ISBN	978-4-7743-3178-2	本体価格	¥2,800	発売	2021/3/1
内容	せっかくの修学旅行なのに、ちっともおもしろくない寺社見学。人気の仏像の“注目ポイント”を「ここ見て！」と紹介し、楽しみの喚起と、歴史や文化への理解促進を図ります。						

書名	鑑真と唐招提寺の研究			著者名	眞田尊光／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04660-2	本体価格	¥11,000	発売	2021/3/1
内容	日本に戒律を伝えるため、幾多の困難をのり越えて唐より渡来した鑑真と弟子たち。彼らが造立した唐招提寺伝存の木彫像や金堂三像の意義・目的、弟子たちの活動の様相などを『唐大和上東征伝』をはじめ関連史料から検討する。渡来後の鑑真一行の活動や唐招提寺について基礎的な事実を究明し、鑑真がもたらした授戒と美術の様相に迫る貴重な研究。						

書名	霸王の神殿 日本を造った男・蘇我馬子			著者名	伊東潤／著		
出版社	潮出版社	ISBN	978-4-267-02275-3	本体価格	¥1,800	発売	2021/3/5
内容	蘇我氏VS 物部氏の骨肉の争いに、推古天皇を中心とした愛憎劇。功罪半ばする日本最古の“悪役”蘇我馬子を描く古代史浪漫小説、誕生！						

書名	律令政治と官人社会			著者名	虎尾 達哉／著		
出版社	塙書房	ISBN	978-4-8273-1320-8	本体価格	¥11,000	発売	2021/3/10
内容	天武の壬申功臣への処遇にみる現実主義的一面と多くの除病延命祈願を行った人間的一面を明らかにするなど、天武朝以降の律令政治と律令官人社会について全11章で考察する。						

書名	抹茶本 京都 大阪 奈良			著者名	編集/昭文社編集部			
出版社	昭文社	ISBN	978-4-398-14417-1	本体価格	¥1,300	発売	2021/3/12	
内容	抹茶スイーツといえば頭に浮かぶのが、パフェとかき氷。抹茶と旬の食材を組み合わせることで季節ごとに異なるメニューが登場します。その見た目の美しさはもちろん、抹茶クリームや抹茶ババロアなどのトッピングでは、同じ抹茶でも食感や香りの違いまで楽しめる、まさに芸術の一皿です。抹茶づくしの盛り合わせや、わらび餅やくずもちなどの和甘味、アイスクリームやパンケーキ、モンブランにティラミスなどの洋菓子、いろいろな抹茶スイーツをご紹介します。							

書名	飛鳥への招待			著者名	飛鳥学冠位叙任試験問題作成委員会 今尾文昭/編			
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-005417-4	本体価格	¥1,900	発売	2021/3/23	
内容	高松塚壁画発見以来、重要な遺跡の発掘が相次ぎ、歴史的景観の整備も進んだ飛鳥。また、『万葉集』の故地として、あらたな魅力を発信しつつある。読売新聞奈良版に足かけ三年にわたり連載された「飛鳥学」は、考古学・古代史・万葉学・民俗学など分野を横断した研究者の最新知見をわかりやすく紹介し、好評を博した。本書はその連載に加え、第一線の研究者による座談会、現地を体感する周遊紀行の三部立てで構成。飛鳥の魅力を一冊に凝縮した決定版ガイド。							

書名	日本古典と感染症			著者名	ロバート キャンベル/著			
出版社	KADOKAWA	ISBN	978-4-04-109942-1	本体価格	¥920	発売	2021/3/24	
内容	古の人々はいかに病と向き合ってきたか？万葉集から、方丈記、江戸の役者絵、正岡子規まで。古典籍をひもとけば、古の人々がどう病と向き合い、苦しい状況の中で希望を見出していったのかがわかる。歴史を学び、現代の糧とする文庫書き下ろし！							

書名	やまとかたり 古事記をうたう			著者名	大小田 さくら子/著			
出版社	新潮社	ISBN	978-4-10-353891-2	本体価格	¥1,900	発売	2021/3/26	
内容	日本の古い言葉には、祈りがある。春日大社、薬師寺などに古事記の朗詠を奉納して十五年。稀有な活動と、奈良の四季の暮らしを綴る。							